

令和2年度使用教科用図書の採択について（報告）

教科 採択教科書	採択の理由（内容、資料、表記・表現等）
国語 光村図書	「学習の進め方」として単元の中で興味・関心から出発し学びを深めていくための進め方が巻頭に示されている。児童の必然性を重視し単元を構成していく本校の考え方と重なる部分が多い。また、これまでの学年で学んできた学習事項と、これから学習する単元とのつながりも明確に示されている。単元の最後に、多読への接続を意識した本の紹介が書き出しや短い解説と共に示されていることも、児童の学びの深まりという観点で役立つ。
書写 光村図書	国語の教科書と関連した学習が多く、本校での単元学習の構成に位置づけしやすい。生活に役立つ実践的な学習が示され、学習を実生活に広げていくことができる。またポスター、ノート書き方など他教科ともつなげていける資料が多く扱われている。文字の成り立ちや言葉の構成など言語事項的な要素も多く、文字に関心を持たせやすい。QRコードを読み取ると動画で筆遣いや、書き順などが示され、文字へのイメージを持たせられるよう工夫されている。
社会 東京書籍	現在の日本の実態をふまえた社会事象を多く取り扱っていることから現在の社会を捉えることができる内容になっている。写真やインタビューなど人の姿を読み取ることができる資料が多く扱われている。統計資料が見やすく、取り扱いデータが現在に近い年となっている。分冊によって児童が持ち帰りやすく、自主的に学習を進めることがしやすい。学習問題が「つかむ」・「調べる」・「まとめる」の項目で分類してあり、見直しをもって問題解決的な学習にとりくむことができるよう工夫されている。
地図 帝国書院	日本国内の地図のページ数が多く、国土の全体を明確に捉えることができる内容になっている。日本の産業や災害についての資料やグローバルな視点を持つことができるような資料になっている。QRコードがついており、ICT機器を使って地図を活用することができる。
算数 啓林館	思考力を育む思考法単元が充実し、問題に対する見通しや課題発見、めあての例示など問題解決の過程が記されていることで、児童に未知の問題にも対応できる力をつけることができる内容となっている。単元の導入に「単元とびら」を設定し、単元レベルでも自ら問題を見つけ、見直しを持って解決へと向かう学びの道筋が示されている。その解決の過程においても、他者と考えを共有し、よりよい解決へと向かうことを大切に紙面構成になっている。練習問題は難易度が2段階になっており、習熟度別学習に対応されている。
理科 啓林館	問題解決の流れが明確に示されており、さらに各単元における「問題」とその解である「まとめ」が対応して示されている。何を解決するための実験・観察であるのか、目的と方法が混同しないように、視覚的な差別化が図られている。また、「理科の広場」や「つなげよう」では理科の有用性を実感することができる日常生活に関連する情報を多く取り扱っている。
生活 啓林館	巻頭部分をはじめ、保護者への説明文章が書かれており、スタートカリキュラムが丁寧に扱われている。また、イラストや写真が効果的に配置されており、学習の内容だけでなく、児童の姿や活動例が分かりやすくまとめられている。QRコードを読み込むと、けん玉の技や種のまき方の動画など、具体的な学びの方法に関する視覚支援を各家庭においても実施することができる。
音楽 教育出版	興味が引き出しやすい教材（楽曲）が採択されている。共通教材などの資料も見開きのカラー写真を多用し、興味を引く内容になっており、大切に受け継がれていくようになっている。題材と共に共通事項の掲載があり、課題を意識して学習に取り組みやすく、「音楽のもと」が発達段階に応じて巻末にわかりやすくまとめられている。季節の歌、発展教材、楽器の紹介や演奏法など、内容が豊富である。
図画工作 日本文教出版	表現活動だけではなく、単元の展開場面が示されている画像が多く、児童にとって活動の流れが想起しやすい構成になっている。導入時に児童と話し合う際に「何を表現するか」、「どのように進めていくのか」、「どのようにそれを活用するのか」を想起しやすく、全体の見直しをもつことのために有効である。従って、単元学習に重きを置く、本校の活動に適している。

家庭 開隆堂	2年間の学習が問題解決的な学習の流れになっている。内容面においては、5年次に基礎的な内容、6年次に応用的な内容を学習できるようになっている。また、学習内容だけで終わるのではなく、それを実生活に生かすことができるような資料も多数掲載されている。資料は、紙媒体で掲載されているものに加えて、QRコードを読み取ると動画で家庭でも予習、復習を行うことができる。
保健 光文書院	必要に応じて見開きページで左右に分けて内容が表記されており学習を進める上で工夫された紙面構成となっている。学習内容に関連する写真や挿絵、グラフや図表などの補助資料が豊富に盛り込まれており、児童が自ら興味・関心に応じて学習を進めることができる。また補助資料に解説が明記されているなど児童にとってわかりやすい。
道徳 光文書院	この教科書の特徴としては、全て問題解決的な学習展開になるように作られているところである。巻頭に「問いをもつ」「考える」「話し合う」「まとめる」という学習の進め方が書かれているので、児童も見通しをもって学習を進めることが容易になることが予想される。学習内容を広げるために各学年「ことばのたからもの」というコラムが存在し、人生の道標や支えとなるような名言を紹介し、自分の生き方をみつめる活動につなげられたり、教材とも関連させることで学習したことを深く考えられるよう設定されている。実際活動する中で学びを深めていくようなスキルトレーニングが行える教材が設定されており、道徳的行為に関する体験的な学習の充実をねらっているように構成されている。
英語 光村図書	各単元の中でHop, Step, Jumpと段階を踏んで構成をされており、単元末のJumpでは単元で学んできたセンテンスやワードを活かした表現活動が設定されている。さらに、その表現活動に向けた単元の目的がGoalとして各単元の最初のページに明記されているため、導入の段階で単元の学習活動の目的を意識しながら学習を進めていくことが可能な構成となっている。また、各時間で読む、書く、話すが毎回含まれるようになっており、単元のGoalに向かいながら多様な活動ができる。